

学年通信

令和2年10月20日(火)



「福祉」の視点を大切に

9月30日(水)に福祉体験1日目(講義形式), 10月5日(月)に福祉体験2日目(体験形式)がありました。福祉体験を行う目的は2つあります。1つ目は、「地域の方との交流を通して、地域のこと、福祉のことをより知ってもらうこと。」2つ目は、「福祉体験で経験したことを踏まえて防災計画を考えること」です。この目的を事前に理解した上で、「自分だけでなく、様々な人が助かるにはどうしたら良いのか」という視点をもって2日間の学習を行いました。

【福祉体験1日目】



学んだことは、忘れないようにメモを取りながら話を聞く姿勢。とても大切なことですね。

教わったことを、すぐに実践して表現する力も大切ですね。学びに積極的な姿勢good!

1日目振り返り

- 手話とは、手で話し、目で聞くもので、耳が不自由な方がコミュニケーションをとるための1つの方法だと知りました。大切なことは、「一生懸命伝えようとする気持ち」だと教えてもらったことが印象に残っています。体験では、積極的に行動してたくさん学ぼうと思います。
- 要約筆記という言葉は初めて聞いたとき、全く分かりませんでした。説明を聞くことで、音声で伝えられたことを短くまとめて、文字にすることが分かりました。僕は「要約筆記は、生活に欠かせないもの」という言葉を聞き、早く学びたいと思いました。
- 「相手の立場にたって、やさしく、いたわりをもって接してください。」という言葉がすごく印象に残っています。今何が困っていて、何をして欲しいのか考えて行動できるようになりたいです。また、防災計画を立てるときには、困っている人の視点を大切にしたいです。

【福祉体験2日目】



2日目振り返り

- 今日は、耳の不自由な方が音の聞こえない世界でどのように生活しているのか体験しました。私は、もし今度話す機会があれば、相手のことを第一に考え、正面からゆっくりとジェスチャーをして伝えたいと思いました。
- アイマスクを使い、白杖を持って歩くことで目の不自由な方の苦勞が分かりました。いつも見ることが出来ているので、見えないと、1つ1つの動きがとても怖く感じました。手助けしている介助者の方には感謝しかありません。私も出来ることから取り組みます。
- 思うように体が動かさせないのはしんどかったです。だからこそ私は、そのような方を見つけたら必ず声をかけ、手を貸そうと思います。



中間試験やりきりました!

10月12日(月), 13日(火)の2日間で中間試験が行われました。試験発表中は、授業後や放課後、分からない部分を教科の先生に聞く姿や自分なりにノートをまとめたマイノートを作成するなど、前向きに学習に取り組む姿がたくさん見られました。頑張りが結果に結びついていると、良いですね。

また、テストは返却された後の「振り返り」が、学力を伸ばしやすい絶好のチャンスです!! 同じ間違いを繰り返さないように、必ず書き直しをしておきましょう。

10・11月の行事予定

10月23日(金)	漢字検定	31日(土)	学習発表会
11月 5日(木)	ミニ運動会	7日(土)	道徳・地域貢献活動
14日(土)	吹奏楽祭	24日(火)~26日(木)	期末試験